

## 戦後 80 年平和展を開催するにあたって

1945 年(昭和 20 年)8 月 14 日深夜、人々が寝静まった頃合いを狙ったかのように米軍の爆撃機 B29 約 90 機が熊谷の上空に襲いかかりました。

住宅が密集する星川を中心に、すさまじい量の焼夷弾が無辜の市民の頭上に落とされました。翌 15 日未明まで続いた空襲により、266 人の命が奪われ、市街地の3分の2が焼き払われました。

熊谷空襲は、埼玉県下最大の空襲被害であり、被害戸数 3,630 戸、罹災者数 15,390 人、負傷者 3,000 人に上るとされています。ポツダム宣言受諾の玉音放送が流れたのは、業火の爪痕のように未だあちこちで火がくすぶっていた 15 日正午でした。これが「最後の空襲」と呼ばれるゆえんです。

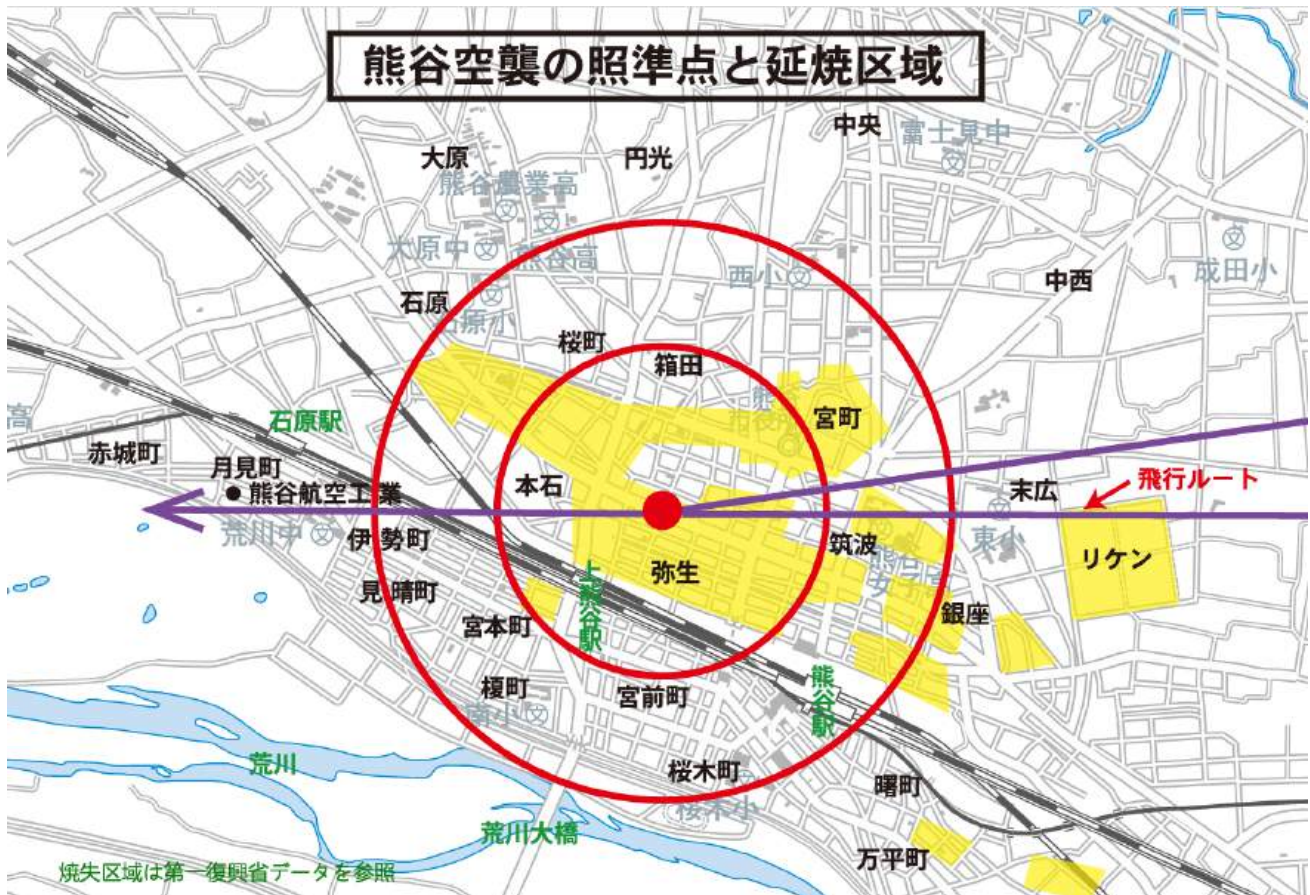
今年は熊谷空襲から 80 年目の年です。当時の悲劇を知る体験者は年々少なくなってきました。市内に残る戦跡や戦争当時の品々、被災された方々の証言などを通して決して忘れてはいけない熊谷空襲について知っていただきたく、これからも平和な日本で在り続けることを願いながら本展を開催いたします。

平和展実行委員会



石川守彦さん撮影、片倉製糸で行われた消火リレー

# 熊谷空襲とは

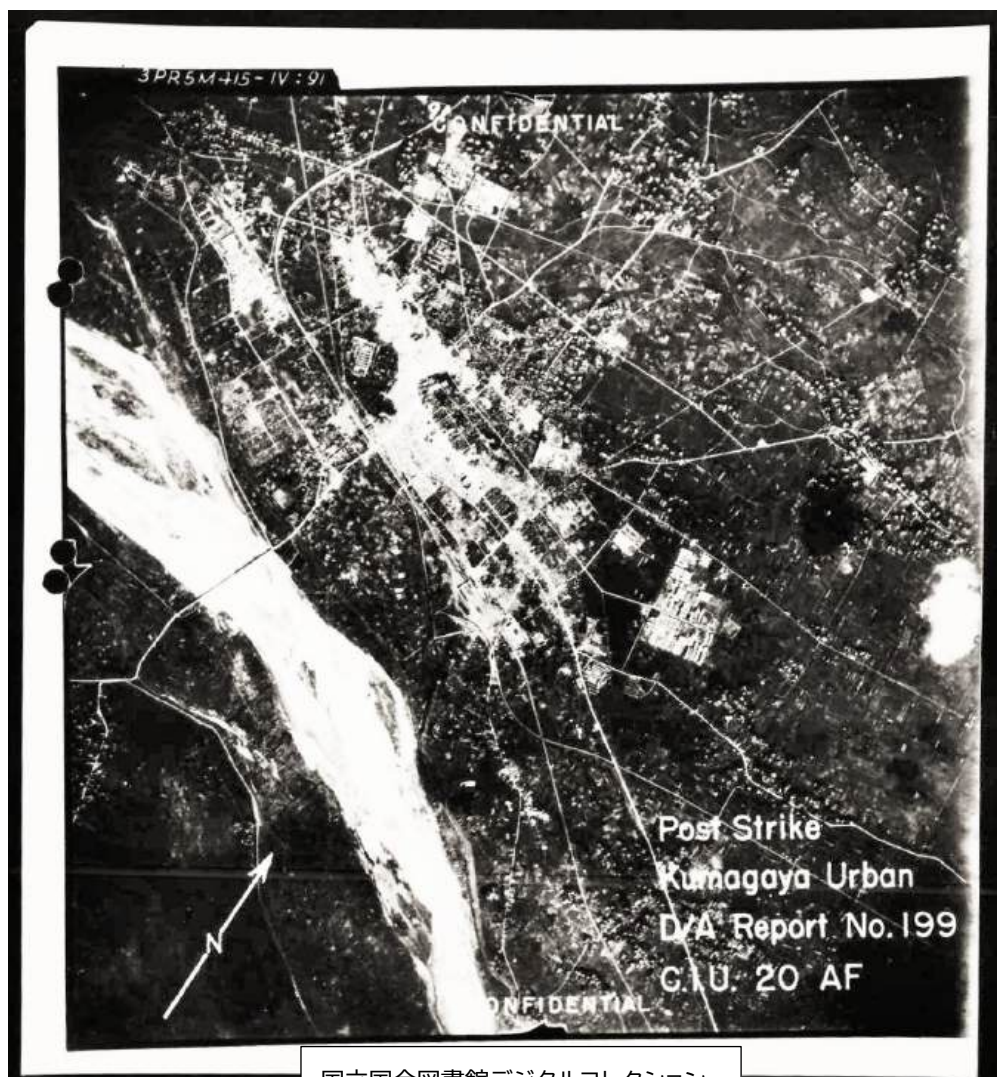


1945 年（昭和 20 年）8 月 14 日午後 11 時 30 分ごろから未明にかけて、米軍の戦略爆撃機 B-29 約 90 機による空爆で、熊谷の町は壊滅的被害を受けた。

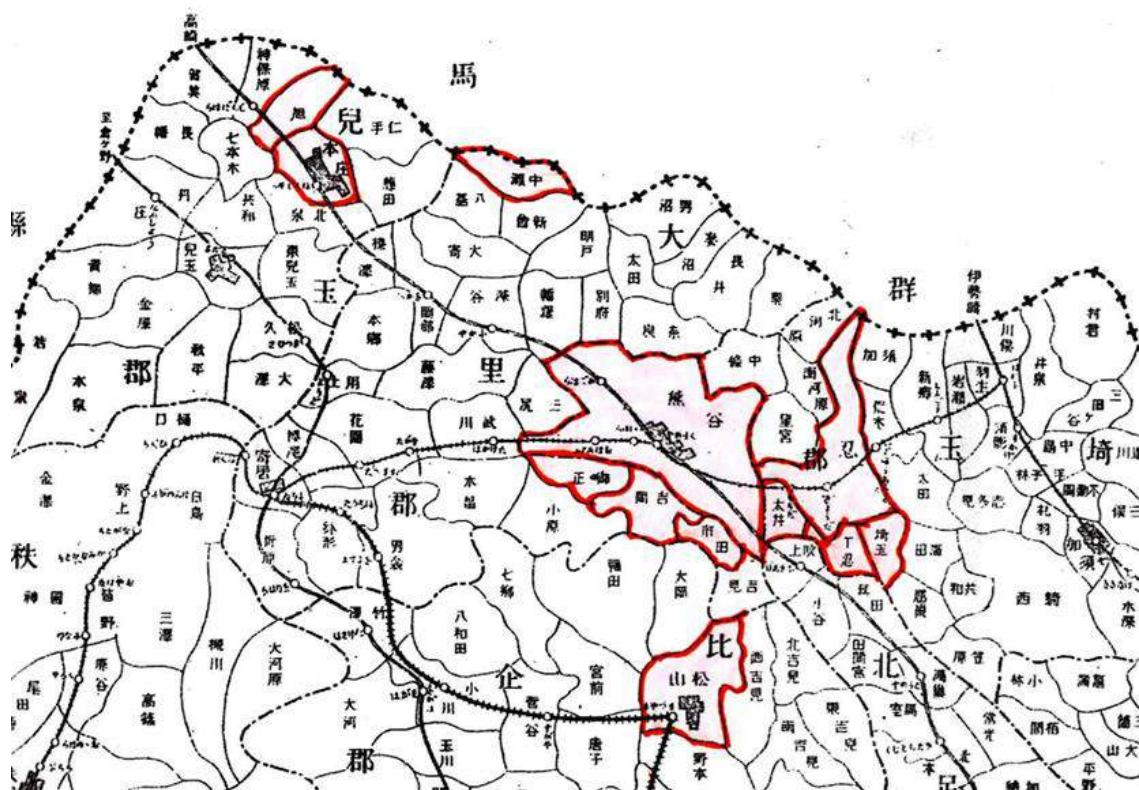
- 被災面積 358,000 坪（市街地面積の 74%）
- 被災戸数 3,630 戸（全戸数の 40%）
- 罹災者数 15,390 人
- 死者 266 人
- 負傷者 約 3,000 人

# 最後の空襲とは

8月14日午前11時2分、天皇は御前会議を招集し、ポツダム宣言の無条件受諾を決めるが、閣議等諸手続きに時間がかかり、政府は、午後11時受諾詔書を公布する。外務省は、スイスとスウェーデンを通じて連合国に受諾を発信。その30分後熊谷への空爆が開始されたのだ。B-29のパイロットには、反転帰還暗号「UTAH（ユタ）」は届かなかった。熊谷空襲は、米軍にとってアジア太平洋戦争のフィナーレを飾る空襲となった。下の写真は、空襲の結果を確認するため空撮されたもの。



# 行田・深谷・本庄の被害



熊谷空襲では、熊谷市に隣接する旧村だけでなく、周辺地域にも空爆されているところがあった。

## ●行田市(忍町、下忍村、埼玉村) 死者3人、全焼45戸

※8月15日の朝、埼玉村では焼夷弾に触れて5人が亡くなり、5人が負傷している。

## ●深谷市(中瀬村) 死者2人、重傷者3人、全焼13戸

※利根川堤防沿い川岸区東部から原区の中瀬神社までの1キロの間に焼夷弾が投下された。吉祥寺付近以外は家並みから逸れたため被害は最小限度です。また、中島飛行機太田製作所への空爆で、中瀬村の住人が1人亡くなっている。

## ●本庄市(本庄町・旭村) 死者1人

※被災した建物は、本庄高層気象台、富士紡など、国民学校は駐屯していた軍隊によって消し止められた。

# 最後の空襲（全国版）

1945 年 8 月 14 日、B-29 による空襲があった全国の都市・施設

|   | 都市名          | 空襲時刻                | 爆撃目標                 | 空襲の概要                                                                                                     |
|---|--------------|---------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 山口県<br>岩国市   | 14日昼前から25分          | 岩国駅<br>麻里布操車場        | B29約100機により岩国駅一帯が爆撃され壊滅的な被害となる。死者517人、行方不明30人、負傷者859人、全壊家屋543、半壊家屋343、罹災者5911人、当日爆撃するという伝單(ビラ)もあり逃げた人もいた。 |
| 2 | 山口県<br>光市    | 14日12時20分から13時      | 光海軍工廠                | B29約160機による爆撃、5波に渡る絨毯爆撃で死者738人(内訳:軍人51名、軍属554人、動員学徒133人)                                                  |
| 3 | 大阪府<br>大阪市   | 14日13時ごろ            | 大阪城内の大阪陸軍造兵廠         | B29約150機で爆撃、爆弾は北側の京橋駅にも落ち大きな被害となる。死者数は不明だが身元判明者210人以上、身元不明者は500～600人以上といわれている。                            |
| 4 | 秋田県<br>秋田市   | 14日22時27分から15日2時39分 | 日本石油秋田製油所<br>(土崎港周辺) | B29約130機、死者250人以上、負傷者200人以上、建物の全焼104、半焼6、全壊12                                                             |
| 5 | 埼玉県<br>熊谷市   | 14日23時30分から15日未明    | 熊谷市街地                | B29約90機により、主に焼夷弾による空襲、死者266人、焼失家屋3,630戸、罹災者15,390人                                                        |
| 6 | 群馬県<br>伊勢崎市  | 14日深夜から15日未明        | 伊勢崎市街地               | B29約90機による主に焼夷弾による空襲、死者29人、負傷者約150人、焼失家屋1,943戸、罹災者8,511人                                                  |
| 7 | 神奈川県<br>小田原市 | 15日0時から3時           | 小田原市街地               | B29 5・6機、死者48人、負傷者40人、全焼家屋474戸、罹災者1,666人、熊谷、伊勢崎空襲からの帰還の際、残留の爆弾を落としたという説もある。米軍の記録がない。                      |

※小田原は、米軍のターゲットではなく、熊谷と伊勢崎を空爆し帰還するB-29が、着陸時の危険を回避するため、積み荷を軽くするために爆弾(焼夷弾)を投下したといわれている。

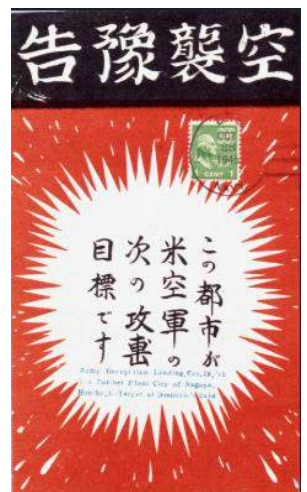
※8月15日以降の空襲 8月22日の昼下がり、樺太の豊原市を標的にしたソ連軍による空爆があり、死者100人、焼失家屋400戸という大きな被害を出している。

## 告知された空襲

8 月 14 日の朝、熊谷商業学校 4 年の吉田行孝さんは、石原の熊谷航空工業に自転車で通った。学徒動員でゼロ戦の尾翼を造っていたという。工場に着くと吉田さんの班は、一か所に集められ、今夜熊谷に空襲があることと、明日 15 日で戦争が終わることを告げられ帰宅させられた。にわかに信じられなかったが、そのことを家族と隣近所に伝え、自分は父親と肥塚に逃げた。11 時 30 分ごろ、照明弾で昼間のように明るくなった熊谷の町に、あちこちから火の手が上がり、町は紅蓮の炎に覆いつくされた。B-29 のエンジン音とともに、この世の終わりを感じたという。夜が白み始め筑波町の自宅に戻ると、家は焼失していた。

熊谷では、8月14日の夜に空襲があることを少なからずの人たちは知っていた。理由は、空襲を告知する伝単(宣伝ビラ)が撒かれたからだだろう。しかし、人的被害の大きさを考えると、このような情報に接しなかった市民も多いのだ。吉田さんのように、知り得た情報により、個人的に退避行動を取った人もいた。また、空襲は知っていたが、翌日には戦争が終わるのだったら、空襲はないだろうと思った人もいた。

ところで、事前の空襲予告ビラで退避行動を取った市がある。8月5日に空襲があった前橋市だ。市長は「退避か死守か」で悩んだ末、町からの「退避」を決定した。当時としては難しい決断だったと思う。陣中見舞に行った伊勢崎市長は、このことを聴き、参考にしたという。ただこういった情報がどこまで伝わったのか定かでない。



「前橋よいとこ糸の町、8月5日は灰の町」

※上記は、前橋に撒かれた米軍の予告ビラの内容です。熊谷空襲に関する伝単

(宣伝ビラ)等、戦争にまつわる資料を探しています。(熊谷空襲を忘れない市民の会)

# リストアップされた180都市

米軍は空爆する都市を選定していた

| No | 都市     | 都道府県 | No | 都市   | 都道府県 | No  | 都市    | 都道府県 | No  | 都市   | 都道府県 |
|----|--------|------|----|------|------|-----|-------|------|-----|------|------|
| 1  | 東京     | 東京都  | 46 | 宇部市  | 山口県  | 91  | 今治市   | 愛媛県  | 136 | 石巻市  | 宮城県  |
| 2  | 大阪市    | 大阪府  | 47 | 青森市  | 青森県  | 92  | 松江市   | 島根県  | 137 | 日田市  | 大分県  |
| 3  | 名古屋市   | 愛知県  | 48 | 福井市  | 福井県  | 93  | 沼津市   | 静岡県  | 138 | 土浦市  | 茨城県  |
| 4  | 京都市    | 京都府  | 49 | 川口市  | 埼玉県  | 94  | 宇治山田市 | 三重県  | 139 | 彦根市  | 滋賀県  |
| 5  | 横浜市    | 神奈川県 | 50 | 秋田市  | 秋田県  | 95  | 宇和島市  | 愛媛県  | 140 | 鶴岡市  | 山形県  |
| 6  | 神戸市    | 兵庫県  | 51 | 千葉市  | 千葉県  | 96  | 小田原市  | 神奈川県 | 141 | 池田市  | 大阪府  |
| 7  | 広島市    | 広島県  | 52 | 盛岡市  | 岩手県  | 97  | 小松市   | 石川県  | 142 | 玉野市  | 岡山県  |
| 8  | 福岡市    | 福岡県  | 53 | 久留米市 | 福岡県  | 98  | 弘前市   | 青森県  | 143 | 松阪市  | 三重県  |
| 9  | 川崎市    | 神奈川県 | 54 | 若松市  | 福岡県  | 99  | 岩国市   | 山口県  | 144 | 上田市  | 長野県  |
| 10 | 呉市     | 広島県  | 55 | 宇都宮市 | 栃木県  | 100 | 船橋市   | 千葉県  | 145 | 飾磨市  | 兵庫県  |
| 11 | 八幡市[注] | 福岡県  | 56 | 旭川市  | 北海道  | 101 | 佐賀市   | 佐賀県  | 146 | 川内市  | 鹿児島県 |
| 12 | 長崎市    | 長崎県  | 57 | 前橋市  | 群馬県  | 102 | 東舞鶴市  | 京都府  | 147 | 能代市  | 秋田県  |
| 13 | 仙台市    | 宮城県  | 58 | 桐生市  | 群馬県  | 103 | 鳥取市   | 鳥取県  | 148 | 立川市  | 東京都  |
| 14 | 札幌市    | 北海道  | 59 | 戸畑市  | 福岡県  | 104 | 半田市   | 愛知県  | 149 | 西条市  | 愛媛県  |
| 15 | 静岡市    | 静岡県  | 60 | 岡崎市  | 愛知県  | 105 | 熊谷市   | 埼玉県  | 150 | 八代市  | 熊本県  |
| 16 | 熊本市    | 熊本県  | 61 | 日立市  | 茨城県  | 106 | 米沢市   | 山形県  | 151 | 伊丹市  | 兵庫県  |
| 17 | 佐世保市   | 長崎県  | 62 | 延岡市  | 宮崎県  | 107 | 尾道市   | 広島県  | 152 | 下松市  | 山口県  |
| 18 | 函館市    | 北海道  | 63 | 大分市  | 大分県  | 108 | 足利市   | 栃木県  | 153 | 三島市  | 静岡県  |
| 19 | 下関市    | 山口県  | 64 | 長野市  | 長野県  | 109 | 福島市   | 福島県  | 154 | 宮古市  | 岩手県  |
| 20 | 和歌山市   | 和歌山県 | 65 | 八戸市  | 青森県  | 110 | 若松市   | 福島県  | 155 | 佐伯市  | 大分県  |
| 21 | 横須賀市   | 神奈川県 | 66 | 松本市  | 長野県  | 111 | 明石市   | 兵庫県  | 156 | 新宮市  | 和歌山県 |
| 22 | 鹿児島市   | 鹿児島県 | 67 | 高崎市  | 群馬県  | 112 | 米子市   | 鳥取県  | 157 | 萩市   | 山口県  |
| 23 | 金沢市    | 石川県  | 68 | 一宮市  | 愛知県  | 113 | 直方市   | 福岡県  | 158 | 浜田市  | 島根県  |
| 24 | 堺市     | 大阪府  | 69 | 山形市  | 山形県  | 114 | 飯塚市   | 福岡県  | 159 | 倉敷市  | 岡山県  |
| 25 | 尼崎市    | 兵庫県  | 70 | 津市   | 三重県  | 115 | 岸和田市  | 大阪府  | 160 | 酒田市  | 山形県  |
| 26 | 小倉市    | 福岡県  | 71 | 清水市  | 静岡県  | 116 | 小野田市  | 山口県  | 161 | 福知山市 | 京都府  |
| 27 | 大牟田市   | 福岡県  | 72 | 大津市  | 滋賀県  | 117 | 瀬戸市   | 愛知県  | 162 | 八幡浜市 | 愛媛県  |
| 28 | 岐阜市    | 岐阜県  | 73 | 長岡市  | 新潟県  | 118 | 豊中市   | 大阪府  | 163 | 敦賀市  | 福井県  |
| 29 | 浜松市    | 静岡県  | 74 | 宮崎市  | 宮崎県  | 119 | 諫早市   | 長崎県  | 164 | 唐津市  | 佐賀県  |
| 30 | 小樽市    | 北海道  | 75 | 水戸市  | 茨城県  | 120 | 平塚市   | 神奈川県 | 165 | 高山市  | 岐阜県  |
| 31 | 岡山市    | 岡山県  | 76 | 吹田市  | 大阪府  | 121 | 新居浜市  | 愛媛県  | 166 | 栃木市  | 栃木県  |
| 32 | 新潟市    | 新潟県  | 77 | 別府市  | 大分県  | 122 | 釜石市   | 岩手県  | 167 | 島原市  | 長崎県  |
| 33 | 豊橋市    | 愛知県  | 78 | 釧路市  | 北海道  | 123 | 桑名市   | 三重県  | 168 | 高田市  | 新潟県  |
| 34 | 門司市    | 福岡県  | 79 | 八王子市 | 東京都  | 124 | 鎌倉市   | 神奈川県 | 169 | 平市   | 福島県  |
| 35 | 布施市    | 大阪府  | 80 | 奈良市  | 奈良県  | 125 | 岡谷市   | 長野県  | 170 | 七尾市  | 石川県  |
| 36 | 富山市    | 富山県  | 81 | 銚子市  | 千葉県  | 126 | 伊勢崎市  | 群馬県  | 171 | 舞鶴市  | 京都府  |
| 37 | 徳島市    | 徳島県  | 82 | 大宮市  | 埼玉県  | 127 | 津山市   | 岡山県  | 172 | 柏崎市  | 新潟県  |
| 38 | 松山市    | 愛媛県  | 83 | 浦和市  | 埼玉県  | 128 | 芦屋市   | 兵庫県  | 173 | 洲本市  | 兵庫県  |
| 39 | 西宮市    | 兵庫県  | 84 | 高岡市  | 富山県  | 129 | 三原市   | 広島県  | 174 | 中津市  | 大分県  |
| 40 | 高松市    | 香川県  | 85 | 防府市  | 山口県  | 130 | 徳山市   | 山口県  | 175 | 海南市  | 和歌山県 |
| 41 | 室蘭市    | 北海道  | 86 | 都城市  | 宮崎県  | 131 | 川越市   | 埼玉県  | 176 | 館山市  | 千葉県  |
| 42 | 高知市    | 高知県  | 87 | 市川市  | 千葉県  | 132 | 山口市   | 山口県  | 177 | 飯田市  | 長野県  |
| 43 | 姫路市    | 兵庫県  | 88 | 郡山市  | 福島県  | 133 | 藤沢市   | 神奈川県 | 178 | 丸亀市  | 香川県  |
| 44 | 四日市市   | 三重県  | 89 | 福山市  | 広島県  | 134 | 帯広市   | 北海道  | 179 | 多治見市 | 岐阜県  |
| 45 | 甲府市    | 山梨県  | 90 | 大垣市  | 岐阜県  | 135 | 三条市   | 新潟県  | 180 | 熱海市  | 静岡県  |

埼玉県では、川口、大宮、浦和、熊谷、川越の5都市、B-29での攻撃を受けたのは熊谷のみだった

# 防火訓練・消火リレー



石川守彦さん撮影、戦時中の熊谷。下の写真は片倉製糸で行われた消火リレーの様子。遠巻きに大勢の観客がいる。

## ■ 中島飛行機、知ってる？

1944 年 7 月サイパン島が陥落し、日本全域がほぼ、米軍の戦略爆撃機 B-29 の射程圏内になった。そして**最初のターゲットとなったのが、中島飛行機武蔵野製作所**だった（11 月 24 日）。米軍の狙いの一つは、航空機産業を潰すこと。**中島飛行機は、その象徴的存在だった。**その後、日本の主だった都市や軍需工場は、壊滅状態になるのだが、日本はなかなか降伏しない。連合国は、ポツダム宣言の発出、広島・長崎への原爆投下、ソ連の参戦と次々に手を打つ。**ダメ押しとして選ばれたのが、中島飛行機を下支えしていた熊谷だった。**1945 年 8 月 14 日、戦争のフィナーレを飾る爆撃となった。日本は、熊谷空襲の 12 時間前にポツダム宣言の受諾を決め、天皇は 12 時間後に玉音放送を行った。

# 中島飛行機の歴史



左は尾島の別邸、上は移転した飛行機研究所

戦争の拡大とともに中島飛行機は世界最大級の飛行機製造会社になる。(従業員数 約 25 万人)

- ①1917年(大正6年)中島知久平が、尾島町の養蚕小屋に「飛行機研究所」を設立。
- ②1919年(大正8年)陸軍から20機を発注。以降1945年(昭和20年)の敗戦まで、**29, 925機**(中島知久平地域交流センターパンフレットより)を生産。
- ③1925年(大正14年)東京府の井荻町(現杉並区)東京工場完成
- ④1934年(昭和9年)太田町に**新太田工場完成**(現SUBARU群馬製作所)旧工場は呑竜工場に改称、昭和天皇が太田工場に行幸
- ⑤1938年(昭和13年)陸軍向けエンジン組み立て工場として東京府武蔵野町に**武蔵野製作所を開設**(現NTT武蔵野開発センター、都営武蔵野緑町二丁目アパート)
- ⑥1940年(昭和15年)海軍機専用組み立て工場として、小泉町に**小泉製作所を開設**(現パナソニック)。太田製作所は陸軍機専用となる。
- ⑦1941年(昭和16年)太田飛行場が完成(現スバルロジスティックス)
- ⑧1943年(昭和18年)陸軍向け武蔵野製作所と海軍向け多摩製作所を合併し武蔵製作所とする。ともにエンジン工場。
- ⑨1944年(昭和19年)宇都宮製作所、三鷹研究所を開設(現国際基督教大学)、この年生産のピークで**7, 940機**。なお、**武蔵野製作所は、11月24日、B29により空襲される。**

# 機体・発動機生産数一覧表

| 年度（西暦） |         | 機体（機）  |        |     |        | 発動機<br>（基） |
|--------|---------|--------|--------|-----|--------|------------|
|        |         | 陸軍     | 海軍     | 民間  | 計      |            |
| 大正     | 7 1918  | 0      | 0      | 6   | 6      | 0          |
|        | 8 1919  | 32     | 0      | 2   | 34     | 0          |
|        | 9 1920  | 68     | 31     | 17  | 116    | 0          |
|        | 10 1921 | 55     | 75     | 1   | 131    | 0          |
|        | 11 1922 | 67     | 100    | 1   | 168    | 0          |
|        | 12 1923 | 64     | 108    | 0   | 172    | 0          |
|        | 13 1924 | 71     | 76     | 0   | 147    | 0          |
|        | 14 1925 | 69     | 55     | 0   | 124    | 0          |
| 昭和     | 元 1926  | 49     | 24     | 0   | 73     | 12         |
|        | 2 1927  | 40     | 25     | 0   | 65     | 36         |
|        | 3 1928  | 87     | 24     | 1   | 112    | 60         |
|        | 4 1929  | 93     | 36     | 1   | 130    | 72         |
|        | 5 1930  | 105    | 28     | 2   | 135    | 96         |
|        | 6 1931  | 92     | 36     | 7   | 135    | 120        |
|        | 7 1932  | 169    | 56     | 13  | 238    | 240        |
|        | 8 1933  | 127    | 38     | 14  | 179    | 360        |
|        | 9 1934  | 63     | 32     | 10  | 105    | 420        |
|        | 10 1935 | 116    | 24     | 6   | 146    | 480        |
|        | 11 1936 | 87     | 236    | 12  | 335    | 540        |
|        | 12 1937 | 117    | 241    | 5   | 363    | 780        |
|        | 13 1938 | 420    | 553    | 14  | 987    | 1,548      |
|        | 14 1939 | 673    | 489    | 15  | 1,177  | 2,538      |
|        | 15 1940 | 728    | 349    | 4   | 1,081  | 3,144      |
|        | 16 1941 | 744    | 341    | 0   | 1,085  | 3,926      |
|        | 17 1942 | 1,412  | 1,376  | 0   | 2,788  | 4,889      |
|        | 18 1943 | 2,658  | 3,027  | 0   | 5,685  | 9,558      |
|        | 19 1944 | 3,613  | 4,330  | 0   | 7,943  | 13,926     |
|        | 20 1945 | 826    | 1,449  | 0   | 2,275  | 3,981      |
| 合 計    |         | 12,645 | 13,159 | 131 | 25,935 | 46,726     |

（前川正夫著「中島飛行機物語」による）

# 量産機ランキング

| 順位 | 機種・型式        | 機数     | 設計社 |
|----|--------------|--------|-----|
| 1  | 零式艦上戦闘機（ゼロ戦） | 10,450 | 三菱  |
| 2  | 一式戦闘機（隼）     | 5,750  | 中島  |
| 3  | 九七式戦闘機       | 3,390  | 中島  |
| 4  | 四式戦闘機（疾風）    | 3,380  | 中島  |
| 5  | 三式戦闘機（飛燕）    | 3,120  | 川崎  |

※ゼロ戦の発動機はすべて中島製の「栄」

※ゼロ戦の総生産数10,450機の内6,570機は中島が生産

（前川正夫著「中島飛行機物語」による）



ゼロ戦



隼



九七式戦闘機



疾風



飛燕

戦闘機の前につく数字は、皇紀2600年を基準に、正式採用された年で表す。ゼロ戦は2600年なので零式。一式は2601年、九七式は2597年。

## 1



中島知久平は、1917年(大正7年)、群馬県尾島町の生家近くの養蚕小屋を借りて「飛行機研究所」を設立した。尾島飛行場は、それに合わせて約22万坪の河川敷を整備し造られた。埼玉県側からみると利根川の対岸の河川敷だが、その大半は尾沼村(現熊谷市)で、反対運動がおこる。

②

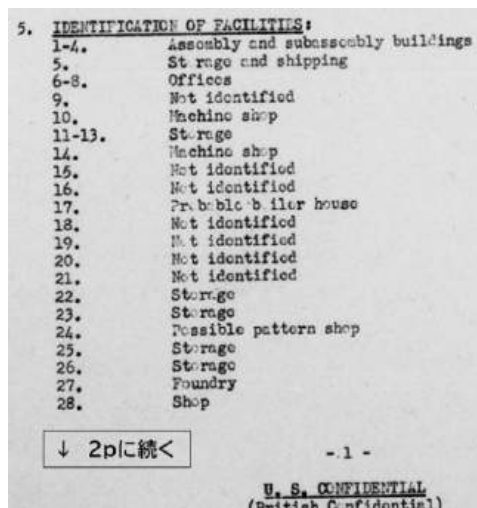


1943年(昭和18年)12月から1983年(昭和58年)5月まで、熊谷から妻沼まで東武熊谷線が走っていた。私たちは妻沼線と呼んでいたが、この鉄道は軍の命令で建設されたもので、中島飛行機へ人と資材、半製品を運ぶための軍事路線だった。利根川橋梁建設途中で敗戦、橋脚は取り壊された。

# 中島飛行機と熊谷 2

## 中島飛行機を支える大工場2社

### ③ 熊谷航空工業



中島飛行機関連で、米軍が中島飛行機工場とみなしているのが熊谷航空工業だ。場所は、秩父線と荒川中学校に挟まれた一帯で、最盛期には3,600人が働いていた。戦闘機の尾翼や胴体などを製造し、小泉製作所まで運んでいた。米軍は、敷地内の建物まで識別していたが、空襲はされなかった。

### ④ 理研工業



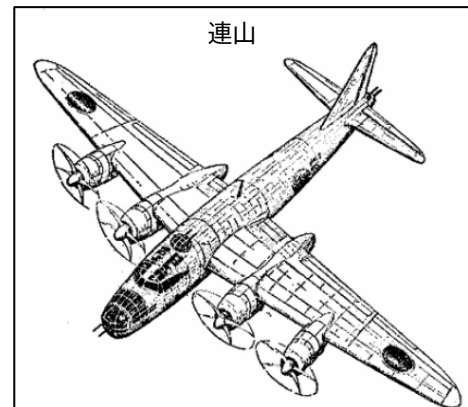
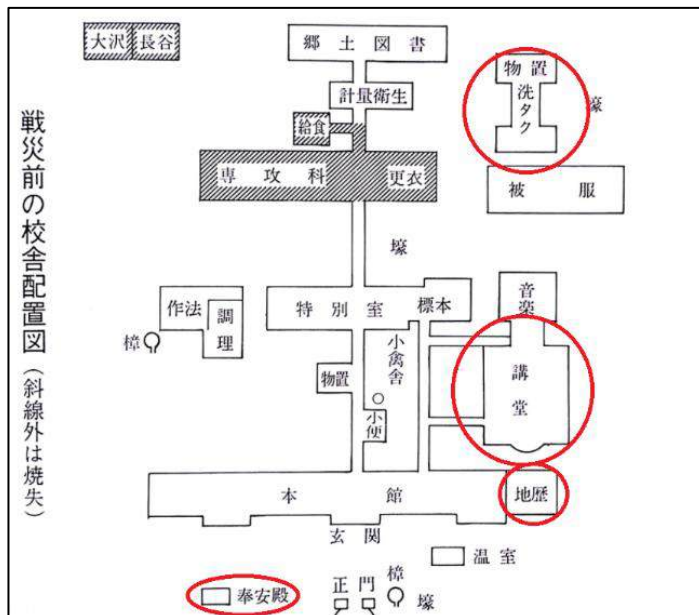
米軍の空襲成果確認写真

1939年(昭和14年)中島飛行機の航空機用発動機(エンジン)に使われるピストンリング専用工場として建設。最大で5,000人が働いていた。熊谷空襲では約60%が焼失。熊谷はこの他、武蔵航空、埼玉航空、富士光機、清水航機など、中島飛行機を支える部品工場がたくさんあった。

# 熊谷高等女学校



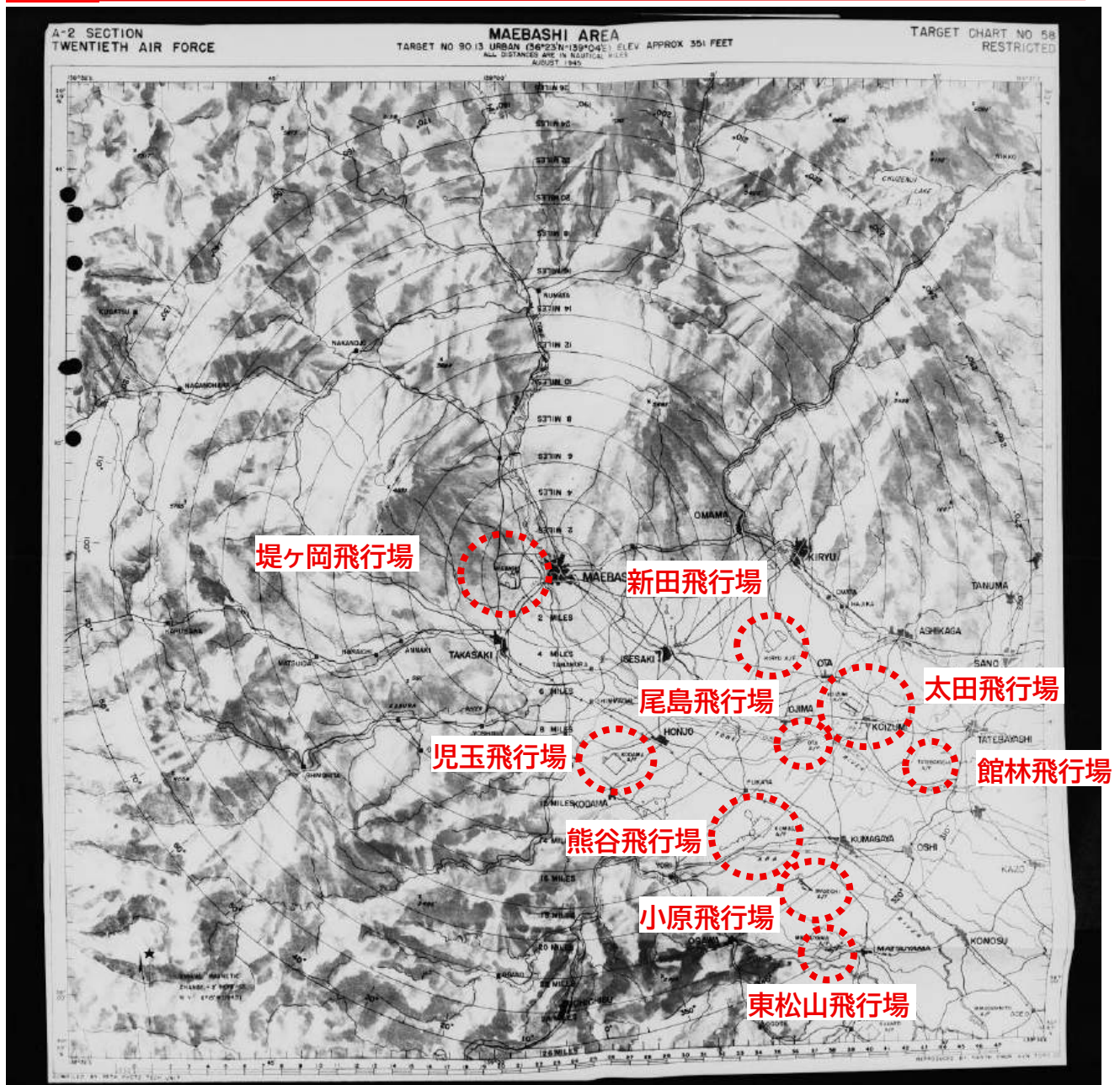
現、熊谷女子の北門(当時の正門)。埼玉県下で唯一空襲により焼失した高校。戦時中、生徒は理研工業や清水航機などに学徒動員され、戦争末期には、海軍の艦政本部が置かれた。中島飛行機の設計部隊も疎開してきて、海軍の大型攻撃機「連山」の設計を行っていた。現テニスコートには、報国農園がつくられた。



B-29 に対抗して造られた海軍の大型攻撃機。構内図の講堂と地歴室に海軍と中島の設計部隊が陣取った。

生徒は登下校時には、正門の左にあった奉安殿に最敬礼をする。授業は1年のみで、2、3年生は航空機の部品工場などに学徒動員された。洗濯室は理研の学校工場。校友会は『学校報国団』となり、部活動も作業もすべて『鍛錬』という名のもとに一括された。

# 熊谷周辺の飛行場

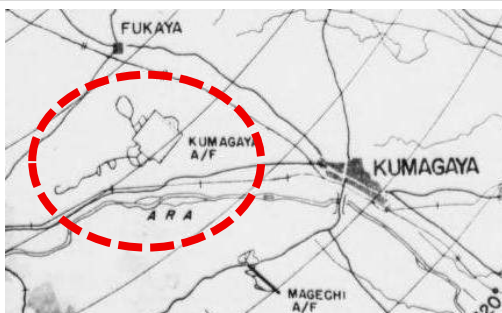


米軍の前橋エリアマップ(90-13)、熊谷周辺の飛行場をプロット。一番古いのは尾島飛行場、中島飛行機の滑走路で、1941年(昭和16年)には太田製作所と小泉製作所の間に中島飛行機専用として太田飛行場が造られた。1935年(昭和10年)に熊谷飛行場(熊谷陸軍飛行学校)が開校すると、児玉飛行場(八町八反飛行場)、堤ヶ岡飛行場、新田飛行場、館林飛行場の分教場が造られた。小原飛行場は熊谷飛行場の補助飛行場。東松山飛行場(唐子飛行場)は未完成だった。熊谷飛行場は地元では三ヶ尻飛行場と呼ばれていた。米軍作成の上記地図の熊谷飛行場を確認すると、誘導路と掩体壕(空爆から飛行機守るため簡易的に格納した壕)が武川方面と深谷方面にとてつもなく広く造られたことがわかる。また、現在の籠原団地にはグライダー滑空場もあった。

# 熊谷陸軍飛行学校開校



1935年(昭和10年)7月、陸軍のパイロット養成機関として熊谷陸軍飛行学校が設立された。主に実技を習得する学校で、ここから1万以上が巣立った。上の写真は、戦後撮られたものだが、よく見ると、武川方面に誘導路と掩体壕があり、米軍のデータから類推すると秩父街道の方まで伸びている。また深谷町、藤沢村方面にも誘導路と掩体壕が広がっている。とてつもない巨大飛行場がこの地に誕生したのだが、当初は住民の反対運動が起き、村民大会が開かれた。三尻村では「熊谷飛行場」は納得できず、熊谷商品の不買運動となった。



# 各地に開設された分教場

## 熊谷陸軍飛行学校分教所一覧

| 分教所名 | 場所(現在の行政区分) |
|------|-------------|
| 館 林  | 群馬県館林市      |
| 新 田  | 群馬県太田市      |
| 横 芝  | 千葉県芝山町      |
| 相 模  | 神奈川県愛川町     |
| 下 館  | 茨城県筑西市      |
| 原 町  | 福島県相馬市      |
| 矢 吹  | 福島県矢吹町      |
| 甲 府  | 山梨県甲府市      |
| 仙 台  | 宮城県名取市      |
| 那須野  | 栃木県那須塩原市    |
| 軽井沢  | 長野県軽井沢町     |
| 伊 那  | 長野県伊那市      |
| 前 橋  | 群馬県高崎市      |
| 松 本  | 長野県松本市      |
| 児 玉  | 埼玉県本庄市      |
| 壬 生  | 栃木県壬生町      |
| 太 田  | 群馬県太田市      |
| 長 野  | 長野県長野市      |



熊谷陸軍飛行学校に勢ぞろいしている、九五式一型練習機(通称**赤とんぼ**)、熊谷、児玉、桶川、伊那そして小原の飛行場の近隣住民が記憶しているのはこの複葉の練習機だ。中島飛行機のテストパイロットは、はるか上空から、熊谷の巨大飛行場で赤トンボの宙返り訓練を見下ろし、奇妙な光景と証言している。

上の表は、航空自衛隊熊谷基地の資料「熊谷陸軍飛行学校小史」による。熊谷陸軍飛行学校は、陸軍のパイロット養成機関の中心的役割を担うことになり、各地に分教所を開設する。上の表では18か所確認できるが、実態はよくわからないところもある。ともあれ、これから紹介する、児玉、桶川、伊那そして分教場ではないが小原飛行場を見ると、どれほど多くの人たちが、飛行場建設に駆り出されたのだろうか。近隣住民の勤労奉仕、学徒動員など、総動員体制のもと、動員されたのだ。また、見失われがちなのが、朝鮮人労働者の徴用である。多くの場合、建設を請負う建設会社が雇い、現場近くに飯場が造られた。

# 児玉飛行場、桶川飛行場

## 児玉飛行場

地元では八町八反飛行場と呼ばれていた。1944 年 4 月熊谷陸軍飛行学校分教所として発足する。しかし、第二期生が卒業すると教育班は解散し、首都防衛を担う軍事飛行場となる。そして各飛行隊の移駐が相次ぎ、多い時には 3, 000 人の将兵が駐屯した。10 月に南京より飛行第 60 戦隊が移駐すると、児玉飛行場は児玉基地となった。敗戦間際、一部将校が海軍の厚木基地と、反乱の動きを見せる。映画にもなった。



## 桶川飛行場

桶川分教場は、1937 年 6 月に開校した。荒川河川敷を滑走路として利用し、現在は、ホンダエアポートがその場所を使用している。また、桶川市は当時の分教場の建物を活用して、桶川飛行学校平和館をオープン、平和活動の拠点にもなっている。



分教場としては古く、戦争末期は、特別攻撃隊の訓練基地となり、多くの若者が沖縄の海に散った。第 79 振武隊の山本少尉の話など残る。なお振武隊は陸軍の特攻隊につけられた名称。児玉では、第 299、第 300、第 301、第 302、第 303、第 304 振武隊が結成されている。

# 伊那飛行場、小原飛行場

## 伊那飛行場

【長野県】天竜川と三峰川が合流する河岸段丘の上(上の原)に、1944年2月、熊谷陸軍飛行学校伊那分教所が開設された。

東条首相の命令で「飛行場設定練習部隊」が新設され、機械化が図られる。10月には、陸軍「飛行場設定部隊」が「設定演習」を実施して、滑走路建設が急遽始まる。模範的な飛行場造りも行われたようだが、ここも他の飛行場と同じように、勤労働員、学徒動員、朝鮮人の徴用で完成している。写真は、格納庫の土台と伊那飛行場説明板。



## 小原飛行場

地元の人たちは「滑走路」と呼んでいた小原飛行場は、熊谷陸軍飛行学校の補助的飛行場として、1944年11

月ごろから着工される。近隣住民、埼玉師範学校、熊谷中学校、熊谷商業学校、熊谷農業学校、熊谷高等女学校の生徒、朝鮮人労働者、さらに国民学校の小学生まで動員され、伐採、整地作業などにあたった。写真は現在の地図に滑走路を重ねた。小川県道のと交差しているが、通行できたという。



# ポツダム宣言から熊谷空襲

体験者から「戦争が1日早く思っていたら」と聴くことが多い。そこで、ポツダム宣言から、熊谷空襲、そして玉音放送まで検証してみる。

1945年7月26日

ドイツ、ベルリン近郊の都市ポツダムにおいて、米国、英国、中華民国三カ国の名でポツダム宣言が発出された。日本への降伏勧告である。ソ連のスターリンはこの会議に出席しているが、名を連ねていない。なお、中華民国の蒋介石は出席していない。



ポツダム会談が行われたツェツィーリエンホーフ宮殿

1945年7月28日

各紙朝刊にポツダム宣言の要約が掲載された。鈴木貫太郎首相は午後4時、記者会見で「この宣言はカイロ宣言（日本の無条件降伏）の焼き直しであり、政府としては何ら重大な価値あるものとは考えず、ただ黙殺するだけである。われわれは戦争完遂に邁進するのみである」と答えてしまった。これを、連合国は拒絶と受け取り、米国の思惑通りとなる。

8月6日 午前8時15分

広島に原爆投下、トルーマンは7月25日に日本への原爆投下を決定している。

## 8月9日 午前零時すぎ ソ連参戦

ソ連の仲介で和平交渉を進めようとしていたが、最後の望みが断たれる。

## 8月9日 午前10時30分最高戦争指導会議開催

メンバーは、鈴木貫太郎首相、米内光政海相、東郷茂徳外相、阿南惟幾(あなみこれちか)陸相、梅津美治郎参謀総長、豊田副武(とよだそえむ)軍令部総長の6名。ここから延々と決まらない会議が続くのである。ポツダム宣言の受諾について、東郷外相の「天皇の国法上の地位存続」のみで受諾する案と、それに「保障占領の拒否」「在外軍隊の自主的撤兵及び内地における武装解除」「戦争責任者の自国における処理」の4条件を譲らない、阿南陸相の対立である。その会議の最中、

## 8月9日 午前11時2分 長崎に原爆投下

## 8月9日 午後2時30分 臨時閣議開催(対立続く)

## 8月10日 午前0時3分、御前会議開催

最高戦争指導者会議構成員に加えて枢密院議長平沼騏一郎も同席。午前2時、鈴木首相は自らの意見を述べず天皇のご裁決を求めた。天皇は「外務大臣の意見に賛成である」としてポツダム宣言の受諾を決定。

## 8月10日 午前3時 閣議でポツダム宣言受諾得を正式決定

連合国に対する受諾回答は、米中に対しては、スイスの加瀬俊一公使からスイス政府を通じて、英ソに対しては、スエーデンの岡本季正(すえまさ)公使からスエーデン政府を通じて行われた。

## 8月13日 米国バーンズ国務長官の回答により紛糾

バーンズ回答の天皇の地位について、外務省は「天皇の国家統治の権限は連合国最高司令官の制限の下におかれる」と説明。この「制限の下」で紛糾する。英文の「subject to」をどう解釈するかだ。陸海軍ともこれを「隷属する」と訳した。阿南は国体を破壊するものだから断固峻拒すべきと怒る。9 時からの最高戦争指導会議では3対3、午後 4 時からの閣議では、首相を除く 11 閣僚が外相の受諾論を支持、1 名が首相一任、反対派は阿南ら 3 閣僚となった。そして再び天皇のご聖断を仰ぐことになる。

### 8 月 14 日 午前 11 時 2 分 御前会議開催

天皇は、阿南らの反対意見を聴いたうえで、国内外の現状、彼我（ひが）国力・戦力から判断して自ら戦争終結を決意したもので変わりはないこと。陸海軍の統制の困難を予想して自らラジオにて放送することなど述べた。午後開催された閣議で了承され、ようやく戦争が終わることになる。

なんと、熊谷空襲の前に戦争終結は決定されていた。連合国への公式連絡は、前回と同じようにスイスとスウェーデンを通じて行われたので、遅くなっていたと思われる。しかし、グアムでは、熊谷空襲に飛び立つ前に、日本の同盟通信により日本の降伏を知り、パイロットたちに動揺が走った。命令通り飛び立った B-29 のパイロットには反転帰還命令「UTAH(ユタ)」は届かなかった。

### 8 月 14 日 午後 11 時 30 分ごろ B-29 約 90 機による熊谷空襲開始

この日、米軍は、アジア太平洋戦争のフィナーレを飾る、最大規模の攻撃を行った。(B-29 828 機、戦闘機 186 機、総勢 1, 014 機)

### 8 月 15 日 正午 玉音放送

# 西川喜美子さん（当時 22 歳 旧竹町）

—14 日は自宅にいたということですよ

そうです。

—虫の知らせとか、あるいは今夜空襲がある  
とか聞かなかったですか

それはラジオですね。あの頃は全国どこかに  
B-29が来てたんですよ。



—明日で戦争が終わるということも聞かなかったですか

玉音放送なんて、焼け残ったのは森歯医者だけで聞けなかった。あと土  
手の近所も1軒焼け残った。そこで配給がありますよと聞いて市役所に行  
った覚えがあります。

—空襲は 11 時半ごろからなので寝ていたのですか

そうです。でも私は枕元にちゃんとリュックとか洋服も寝巻ではなくて置いて  
おいた。

—空襲があって昼間のように照明弾で明るくなったと聞いていますが

照明弾が先、それから焼夷弾ですけどね、竹井さん（現、星溪園）の藪の  
ところに焼夷弾が落ちて、パチパチパチって竹っていうのは音がするんで  
すね。それで清水さん（清水染工場→清水航機）の裏と接していますから  
ね。

—最初は空襲警報で分かったんですか

空襲警報が鳴り、すぐ空襲です。

—星川に逃げた人が大勢亡くなりましたね

そうなのよ。私のいところが亡くなりました。

西川さんは、米軍による最初の  
日本本土爆撃、1942 年（昭和  
17 年）4 月 18 日のドーリットル  
空襲と最後の空襲（熊谷空襲）  
を体験しています。

# 梅澤 茂さん（当時 9 歳 佐谷田）

—8 月 14 日の 11 時 30 分ごろですが、遅いので皆さんは寝ていましたか

寝ていて、おやじが「空襲警報だ、起きろ！」と言ってみんなを起こしました。

—空襲は太井、久下、佐谷田から市内の方に向かって行ったと思うがこのあたりも落ちましたか

うちは麦藁の家でした。たまたま5, 6m離れたところに 60k爆弾が落ちた。

—市内はほとんど焼夷弾だけこの辺は爆弾も落ちているんですね

そこが竹と篠の藪だった。その真ん中に落ちたのであまり撥ねなかった。それで母屋は助かった。家の中に牛がいた。牛を前の畑と田んぼの境に梅と胡桃の木と3本あって、空襲警報が出て空襲の最中に牛を繋ぎに行った。次ぐ朝になって見たら前の畑、屋敷混ぜて8反あるかな、焼夷弾が43本落ちていた。43本数えた。牛はかわいそうだった。周りが燃えていたわけだから。

—牛は死にましたか

いえ大丈夫でした。

—玉音放送を聴きましたか

聴きました。大人は、戦争は終わったんかな、死んじゃったんかな、日本は負けたんかな、勝ったんかな「朕思うに、皇祖皇宗、忍び難きを忍び堪え難きを堪え」梅澤医院に行く理研の人が言っていた。これは負けちゃったんだなと思った。（※理研は防空壕に爆弾が落ちたり大きな被害があった。負傷者をリヤカーに乘せ梅澤さんの家の前を通り梅澤医院に担ぎ込んでいた）



# 馬場房子さん（当時5歳、旧墨江町）

うちの母は、写真ではわかりませんが、耳はつぶされ、顔もケロイドになっていました。髪も写真を撮ったころは生えてきたが、それ以前はツルツルで隠していました。こっちの目は見えなかった。手も火傷して。私もこのように足と手と顔を火傷しました。



—熊谷空襲のことなど、お子さんに伝えましたか

伝えていません。子どももおばあちゃんがすごいケロイドでも何も言いませんでした。主人もよく面倒を見てくれました。おばあちゃんはどうしてこんな変な顔をしているのとか、聞いたことがないです。

—当時のお住まいは空襲の被害が一番大きかった場所ですね

私のところはうなぎ屋をしており、生け簀がありました。空襲で父の山田市蔵と姉の文子が亡くなりました。母は私を庇ってくれて酷い火傷を負ったのです。「花松」さんの2人と4人石上寺さんで土葬にしてもらいました。その後の生活が大変で、この頃思うんです。あの時、家族全員一緒に死んでいれば良かったと。

—若い人たちにどう伝えたいですか

戦争なりなんなり苦しい思いをした人、経験した人しかわからないんです。いくら説明しても、本当のことは通じないです。だから今みたいにずっと戦争している、終わらないですよ。あういう指導者がいるから。馬鹿を見るのは、私たち被災者だけ。お話しても一時だけで、今度のノーベル賞受賞も騒ぐけど一時だけでしょ。と、思うんです。

—若い人に伝えたいこととかありますか

戦争のことを聞いて危機意識を持って後世に伝えて、戦争をやらないでほしい。それを聞いた自分たちも戦争にあわないようにしてもらいたい。

# 森村誠一

## 「運命の花びら」

・・・もはや特攻に出撃することのない一式戦闘機、九八式直協機、九九式爆撃機、そして平野の乗機であった零戦が、翼を寄せ合って寂しげに集められていた。・・・略「おれの飛行機はまだ飛べる。おれの郷里は埼玉県だ。熊谷飛行場は搭乗要員として教育された母校でもある。零戦に乗って帰郷しよう。埼玉も安全とは言えないが、この基地にいるよりはましだろう。支度をして、当分、“疎開”すると家族に伝えて、明日の朝、基地へ来てくれ。その間に燃料を積み、機体を整備しておく」・・・平野は春香に告げた。

1933年(昭和8年)～2023年(令和5年)

「母さん、僕のあの帽子どこいったんでせう」  
有名な、「人間の証明」のフレーズだ。映画とジョー・中山が歌うテーマ曲は大ヒットし、一躍時の人となった。また、「悪魔の飽食」では、戦時中の731部隊を鋭く告発した。



作家の原点たる弥生町での空襲体験は最晩年まで語り続け、埼玉新聞などにも寄稿。熊谷空襲に関しては、随筆集として「煌く蒼生(きらめくよせい)2002 講談社」に記述がある。熊谷商業高校から青山大学へ進む。社会へ出てホテルマンとなって後、宿泊している第一線の作家らと接したことで小説家に転身した。山男でもあり、その作品世界の幅広さが魅力。熊谷を舞台にした作品リスト、克明な取材ノート、ガラスペンで書いた生原稿など、熊谷市立文化センター二階に作家のコーナーを常設。

# 壺井 栄

## 「母のない子と子のない母と」

「空襲で焼けた熊谷の町を一郎は思い出しました。（略）ひまさえあれば一郎は、駅へ行って、おりてくる兵隊を見ていました。しかし、おとうさんはもどってこなかったのです。」

壺井 栄 1899 年（明治 32）～1967 年（昭和 42 年）

代表作である「二十四の瞳」は、映画やテレビドラマで何回もリメイクされる名作である。生まれは香川県小豆島。戦前から戦中、節を曲げない表現者にとっては苛酷な時代に、同郷の夫・壺井繁治や同志の獄中生活を支え、生活のために筆を執った。女流文学賞他受賞多数。今春北京で戦前に出版された「緋の着物」が復刊（琥珀書房）された。



戦後わが町でも「文芸復興」が提唱され、中でも子どもらに向け文化活動に携わった人は多い。栄は都下・鷺宮に暮らすが、箱田に仮寓する妹・戎居（えびすい）貞枝一家と度々往来。作中に熊谷の姿を活写した。（※この貸家・新宅は現存）戎居仁平治家の研造、発代、直吉は「壺井のお母さん」と呼び、厳しくも慈愛に満ちた栄の下で学び、建築家・ピアノ教師・調律師となった。連作モデルとして物語を彩る。中でも発代には「この子は目が不自由なんだから生涯、音楽で身を立てなければ」と、手術を繰返した赤子の頃から心を寄せた。

姉の来熊時には、闇米、鶏、鯉を入手。赤飯と唐揚げでもてなし、栄は好物の五家宝と共に持ち帰った。熊谷は「名付け」「牛のころ」、多くの随筆に描かれた。「壺井栄伝」（仁平治著）、追悼文集「回想の壺井栄」（繁治、仁平治編）に詳しい。

# 浅田次郎

## 「日輪の遺産」

「そうさ。生徒が大勢、十四日の晩の熊谷空襲で死にしまったと、大騒ぎをしてやがるんだ。いま死体が届いたところだ」と

(略)

海老沢はたちまち、森脇女子学園の校庭の隅に建っていた慰霊碑を思い出した。刻文には第二学年の一学級全員が、八月十四日の熊谷空襲で死んだと、確かにそう記してあった。

浅田次郎さんは 1951 年生まれ、第16代ペンクラブ会長

代表作は、蒼穹の昴、鉄道員、壬生義士伝などで映画化もたくさんされている。

本作は、佐々部清監督が同名で映画化。マッカーサーの秘宝をモチーフにした作品で「熊谷空襲」も登場する。

秘宝を守り闇に葬られる軍国乙女らの物語の中で、8月14日の集団自決をカモフラージュするエピソードとして熊谷空襲が織り込まれるのだ。一瞬、わが町の女学校の佇まいが銀幕に映し出される。主演は堺雅人、その他中村獅童、福士誠治、八千草薫、森迫永依、土屋太鳳など



# 鹿児島寿蔵

(人形作家・歌人)

## 短歌

かなしみのきはみを示す土ふめば心にひびくこほろぎの声  
東京のわが家の焦土見るよりも

こころは痛し燃ゆる熊谷 『求青』

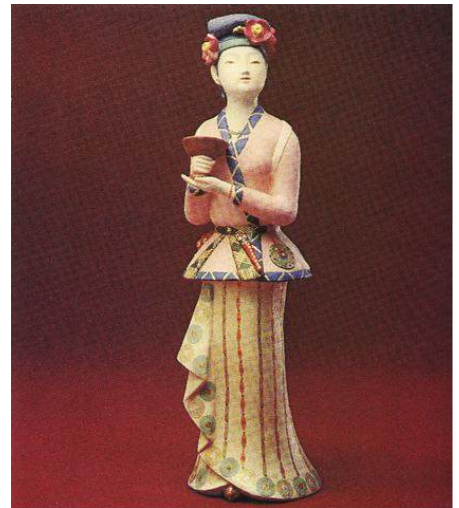
熊谷炎上（八月十四日熊谷市戦災に遇ふ。偶々東京にありてこのことを知らず、翌十五日余塵炎々たる中を帰宅す。市街の一部は十六日の深更に至る迄燃ゆ）

1898 年(明治 31 年)～1982 年(昭和 57 年)

1961 年 人間国宝(紙塑人形)

寿蔵は博多生まれ。博多人形の修業後、紙塑人形を考案。昭和九年、上京翌年に歌壇の主流「アラギ」の門を叩き、島木赤彦、土屋文明の後に続く。工芸の分野においてはそのたおやかな古典ロマン溢るる造形で人間国宝まで昇り詰めた。短歌界でわが町に大きな足

跡あり。アラギ派門弟で市内上之の素封家・棚澤慶治の尽力でその向かいに疎開。田端での東京大空襲被災直後だ。ここに「関東アラギ会」発足、『潮汐』『新泉』発行人となる。龍淵寺開祖の人形他、数々の名品の台座・ケースは近所の原口工芸(原口竹春)が手がけた。



詩人の大岡信は「人形制作と短歌が当初から寿蔵の精神の両輪をなすものであった」そして「彼の克己心の強さに感銘を受けずにはいられない」と語っている。

# 近藤信行

## 「炎の記憶 一九四五・空襲・狂気の果て」

1931 年～2022 年(文芸評論家・編集者)

「無条件降伏がわかっていた晩に」

(抜粋)

埼玉県熊谷市は戦争終結と同時に空爆を受けた街である。八月十四日午後十一時半ごろから十五日の午前一時半にかけて、火の海となった。アメリカ軍の記録によると、煙は一万五千フィートの高さまで上昇したとあるから、B29の飛行高度におよんだほどの大火災だった。…十四日の午前中から午後にかけて、山口県光市の海軍工廠と岩国駅、大坂の陸軍兵廠がねらわれている。深夜になって、熊谷とほぼおなじ時刻には、群馬県伊勢崎市とその周辺、秋田県の土崎が被爆した。その直後の十五日午前二時半には、神奈川県小田原市が憂き目をみた。これはB29の作戦任務にはない行動である。…帰りがけの駄賃とばかりに落として行ったとみえる。マリアナ基地のアメリカ軍は最後の最後まで手をゆるめなかった。

ポツダム宣言の受諾、無条件降伏がもうわかっていたというのに、これらの都市の人々は、まさに文字どおり土壇場の苦しみを味わっている。…もう空襲警報のサイレンは聞かずにすむだろう。そうおもっていた矢先だったにちがいないのである。



# 棚澤慶治

## 短歌「土のにほひ」潮汐叢書

○昭和 20 年 2 月 10 日、B29 百機群馬の小泉、中島航空機製作所爆撃

爆撃に都の焼くる遠炎夜のわが庭に影をつくれり

夜間爆撃の揺れきびしきに囲炉裡への厩の仔牛いたく足搔きぬ

○三月二十八日、鹿児島寿蔵先生東京より熊谷に疎開す

疎開する君の家さがすと熊谷を二日のあひだ見て歩きたり

東京空襲このごろ跡絶えて疎開する荷の引取りに手伝ふはうれし

○八月十四日、熊谷市爆撃

爆撃の最中に出でて避難者を迎ふと夜半の門をひらけり

熊谷の街の焼けゆく大き炎驟雨の中に真青にあがる

爆撃に市内の焼くる夜の炎稲原遠く影をつくりぬ

爆弾にふきあげられし稲の株高压線にいくつかかかる

その日の正午、焼焔くすぶる廃墟の中で、呆然と終戦の玉音放送を聞いた。…夜になると、その晩もまだ日東製粉工場の物資のやけつづけている火が真赤に夜空を焦がしていた。…

1898 年～1996 年、上之前中西、名望家の農家に生まれる。石坂養平門下生、鹿児島寿蔵の右腕となり『わが文学と生活』にその周辺、戦中戦後の暮らしぶりを書き残した。



# 未来に「平和のバトン」を繋ぐ

世界では思わぬ戦争が引き起こされている。今を生きる子どもたち、若者たちに「平和のバトン」を繋ぐ大切さを痛感している。私たちの会として「平和のバトン」を未来へ繋ぐ第一歩は、戦後 75 年に上梓した本「最後の空襲 熊谷」で、戦争体験者へのインタビューを熊谷女子高校や小川高校の生徒に担当してもらったこと。

2022 年からは、高校生等を対象に熊谷市街地の戦跡巡りを開催。初年度は熊谷女子高校日本史部など、20 名程の参加。後に熊谷農業高校、熊谷高校など参加校が増え、高校へのコンタクトを取る中で熊谷西高校の生徒が全国高等学校歴史学フォーラムで、熊谷空襲のこと発表したことを知った。

2024 年 8 月、戦跡巡りに参加し大学生になっていた3人、熊谷西校出身で戦時中の研究を続けていた大学生、熊谷空襲の戦跡を地図や航空写真に収めていた立正大学大学院生など、若者による「講演会」と「パネルディスカッション」が実現した。その中で「小学生の時に熊谷空襲の事を勉強する事で興味が湧いた」という発言があり、熊谷市内の小学生向けの副読本で熊谷空襲の事を取り上げてもらうことを、立正大学大学院生等と働きかけ、2025 年度実現した。小学生向けに熊谷空襲について授業の要請もあり、「平和バトン」を着実に繋げていっている。

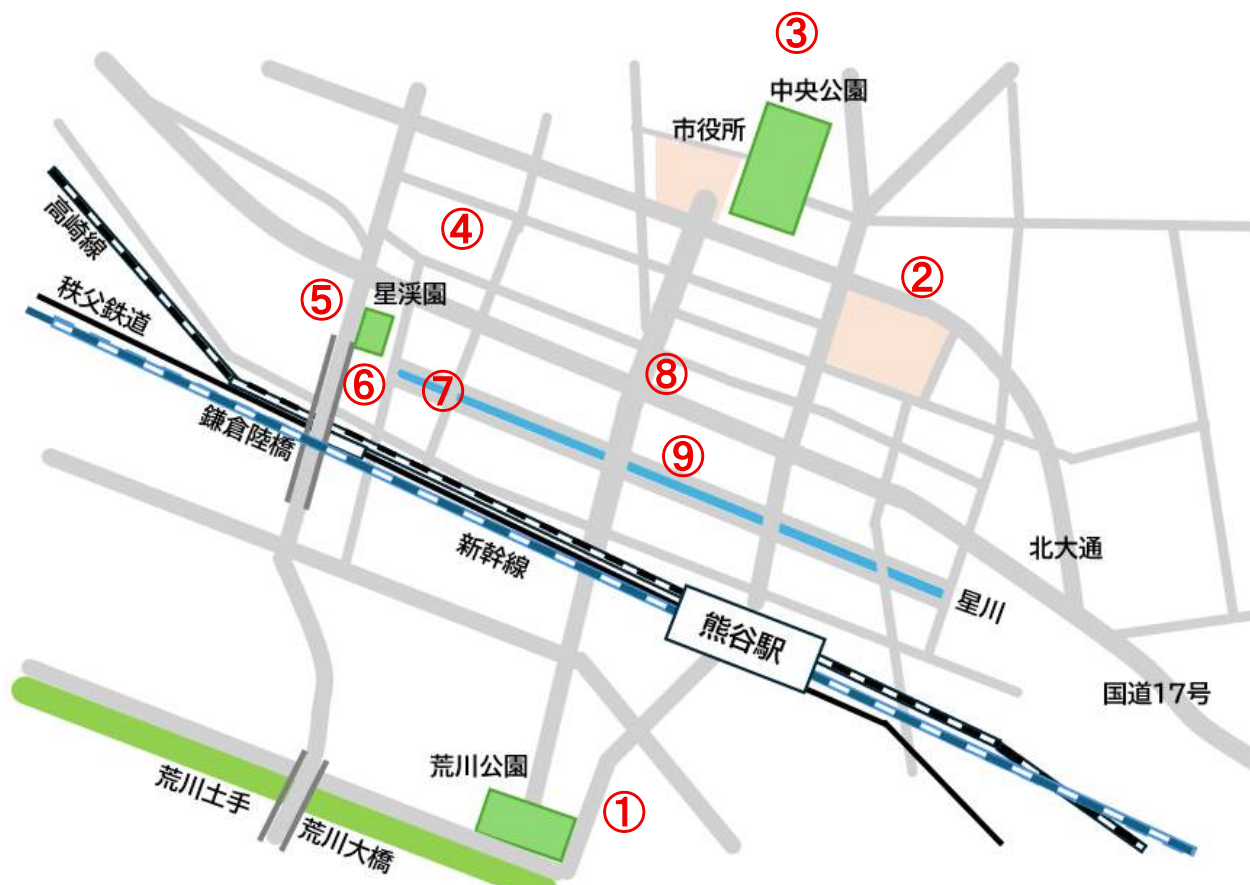


参加者に説明する熊谷女子高校日本史部の生徒



石上寺のご住職から戦災を生き延びた「ケヤキ」の説明を受ける高校生や参加した皆さん

# 熊谷空襲戦跡めぐり



|   |                  |   |              |
|---|------------------|---|--------------|
| ① | 市立図書館 3F 郷土資料展示室 | ⑥ | 石上寺(弘法大師像ほか) |
| ② | 熊谷女子高校北門・鈴懸の木    | ⑦ | 戦災者慰霊之女神像・星川 |
| ③ | 中央公園平和の鐘・戦災ケヤキ   | ⑧ | 中家堂の石燈籠      |
| ④ | 聖パウロ教会・熊谷寺       | ⑨ | 身代り地蔵        |
| ⑤ | 厄除け平和地蔵と舌代       |   |              |

熊谷空襲を忘れない市民の会が行っている戦跡巡り基本コース。ガイドによる説明付きで約3時間。年配者・子ども向けに短縮バージョンも設定している。